

1. 製品情報及び会社情報

1.1 製品特定名

製品名 : DisCharge H2O、DisCharge H2O X2、DisCharge H2O X4

製品番号 : DCH、DCH2X、DCH4X
ブランド : DisChem, Inc.

CAS番号 : 混合物

1.2 当該化学物質又は混合物の関連する特定された用途、及び使用しないように勧告されている用途

特定された用途 : 電子ビームリソグラフィー用帯電防止剤

1.3 安全データシート作成者の詳細

会社名 : DisChem, Inc.
17295 Boot Jack Rd, Suite A Ridgway,
PA 15853 米国

電話 : +1 814-772-6603
FAX : +1 814-772-0946

1.4 緊急時電話番号

緊急電話番号 : +1-703-527-3887 (CHEMTREC) CCN 6727

2. 危険有害性の要約

2.1 化学物質・混合物の区別

29 CFR 1910 (OSHA HCS) に基づくGHS分類

眼刺激性 (カテゴリー2B)、H320

本セクションに記載のHコードの内容の全文については、セクション16を参照のこと。

2.2 GHSラベル要素 (注意書き等)

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H320

眼刺激を引き起こす。

注意書き

P261

粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/しぶきを吸入しないようにする。

P264

取り扱い後は皮膚をよく洗う。

P280

保護手袋/眼の保護具/顔の保護具を着用する。

P303 + P361 + P353

皮膚 (又は毛髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐ。

水/シャワーで皮膚を洗い流す。

P304 + P340 + P312

吸入した場合: 被災者を空気が清浄な場所に移動させ、呼吸が楽な姿勢

で休息させる。気分が悪い場合は、毒物センター/医師に連絡する。

P305 + P351 + P338

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗い流す。コンタクトレンズを着用し

ていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

P337 + P313

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/治療を受ける。

P403 + P233

換気の良い場所に保管する。容器はしっかり密閉しておく。

2.3 他に分類できない危険有害性（HNOC）又はGHS区分外 - 無し

3. 組成/成分情報

3.1 物質：混合物

危険有害成分

成分	分類	濃度 w/v%		
		DisCharge H20	DisCharge H20 X2	DisCharge H20 X4
水 CAS番号：7732-18-5	無し	98~99	96~98	92~94
		DisCharge H20	DisCharge H20 X2	DisCharge H20 X4
第四級アンモニウム化合物、ヤシアルキルビス （ヒドロキシエチル）メチル、硝酸塩 CAS番号：71487-00-8	急性毒性 4；H302 皮膚腐食性 1B；H314 眼損傷 1；H318 水生急性 1；H400 水生慢性 1；H410 M値（急性）：1	1~2	2~4	6~8

本セクションに記載のHコードの内容の全文については、セクション16を参照のこと。

4. 応急措置

4.1 応急措置の説明一般的な注意事項

医師の診断を受ける。担当医師にこの安全データシートを見せる。

吸入した場合

呼吸が有る場合は、被災者を空気が清浄な場所に移動させる。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

石鹸と多量の水で洗い流す。汚染された衣服を脱ぐ。刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。

眼に入った場合

多量の水で少なくとも15分間よく洗う。刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口をすすいでから多量の水を飲む。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。水で口をすすぐ。飲み込んだ場合は治療を受ける。

4.2 最も重要な症状及び影響（急性・遅発性）

最も重要な既知の症状及び影響については、ラベル（セクション2.2参照）及び/又はセクション11に記載

4.3 緊急治療及び必要な特別措置の情報

データ無し

5. 火災時の措置

- 5.1 消火剤適した消火剤**
散水、耐アルコール泡消火剤、粉末薬品、又は二酸化炭素を使用する。
- 5.2 化学物質又は混合物から生じる特別な危険有害性**
データ無し
- 5.3 消火を行う者に対する注意事項**
消火作業の際には必要に応じて自給式呼吸器を着用する。
- 5.4 その他の情報**
データ無し。

6. 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**
個人用保護具を使用する。蒸気、ミスト、ガスを吸入しないようにする。
個人用保護具についてはセクション8を参照のこと。
- 6.2 環境に対する注意事項**
特別な環境保全は不要。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材**
漏出物を封じ込めてから、防爆型の電気掃除機又は湿ったブラシで集め、地域の規制に従い廃棄する為の容器に入れる
(セクション13参照)。
- 6.4 他のセクションの参照**
廃棄についてはセクション13を参照のこと。

7. 取り扱い及び保管

- 7.1 安全な取り扱いの為の注意事項**
皮膚、眼との接触を避ける。蒸気、ミストを吸入しないようにする。
防爆機器を使用する。着火源に近づけないこと。禁煙。静電気の蓄積を防止する為の対策を取る。
注意事項についてはセクション2.2を参照のこと。
- 7.2 安全な保管の条件 (配合禁忌等)**
容器はしっかり密閉して乾燥した換気の良い場所に保管する。一旦開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐ為に直立させて保管しなければならない。
- 7.3 特定の最終用途**
セクション1.2に記載の用途を除き、他に特定の用途の規定は無い

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

作業現場の管理パラメーターが有る成分

成分	CAS番号	値	管理パラメーター	基準
無し				

生物学的職業暴露限界

成分	CAS番号	パラメーター	値	生体試料	基準
無し					

8.2 暴露防止

適切な工学的管理

良好な産業衛生及び安全の習慣に従って取り扱う。休憩前及び終業時に手を洗う。

個人用保護具眼/顔の保護

フェイスシールド及び保護メガネ。NIOSH（米国）やEN 166（EU）等の適切な政府規格の下で試験及び承認された眼を保護する為の装具を使用する。

皮膚の保護

手袋を着用して取り扱う。手袋は使用前に必ず検査する。当該製品との皮膚接触を避ける為、適切な手袋の取り外し方法（手袋の外側に触れることがない）を用いる。使用後の汚染された手袋は、適用法令及び優良試験所基準に従い廃棄する。手は洗って乾かす。

身体の保護

不浸透性保護衣、難燃性帯電防止保護衣。保護具の種類は、特定の作業場における危険物の濃度及び量に基づいて選ばなければならない。

呼吸器の保護

リスクアセスメントで濾過式呼吸用保護具が適切とされている場合は、工学的管理に対する予備として、多目的の組み合わせ（米国）又はタイプABEK（EN 14387）のレスピレーターカートリッジを備えたフルフェイスマスクを使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合は、フルフェイス型の送気マスクを使用する。NIOSH（米国）やCEN（EU）等の適切な政府規格の下で試験及び承認された呼吸用保護具及びコンポーネントを使用する。

環境への暴露の制限

安全に実施できる場合は、それ以上の漏出及び流出を防ぐ。当該製品を下水に流れ込ませないこと。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質の情報

a) 外観	形態：液体 ：無色	色
b) 臭い	有り	
c) 臭気閾値	データ無し	
d) pH	6.0~7.0	
e) 融点/凝固点	0℃	
f) 初留点及び 沸点範囲	100℃	
g) 引火点	無し	
h) 蒸発速度	1.0 (H ₂ O=1)	
i) 燃焼性 (固体、気体)	データ無し	
j) 燃焼又は爆発範 围の上下限	燃焼範囲の下限は無い	
k) 蒸気圧	1 (空気=1)	
l) 蒸気密度	データ無し	
m) 相対密度	0.99g/cm ³	
n) 水溶解性	完全に可溶	
o) 分配係数：n-オクタノー ル/水	データ無し	
p) 自然発火温度	データ無し	
q) 分解温度	データ無し	
r) 粘度	データ無し	
s) 爆発性	データ無し	
t) 酸化特性	データ無し	

9.2 その他の安全情報

VOC (g/L) <9

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

データ無し

10.2 化学的安定性

推奨保管条件下で安定。

10.3 危険有害反応可能性

情報無し

10.4 避けるべき条件

日光への暴露。

10.5 混触危険物質

情報無し

10.6 危険有害な分解生成物

その他の分解生成物 - データ無し

火災条件下で形成される危険有害な分解生成物 - 酸化炭素

火災の場合：セクション5を参照のこと

11. 有害性情報

11.1 有害な影響についての情報

急性毒性

経口LD50 - ラット - 300～2000mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

皮膚 - ウサギ

結果：軽度の皮膚刺激

重篤な眼損傷性/眼刺激性

眼 - ウサギ

結果：重篤な眼刺激の危険性 - 24h

呼吸器又は皮膚の感作性

データ無し

生殖細胞変異原性

データ無し

発がん性

当該製品は、その発がん性についてIARC、ACGIH、NTP、又はEPAの分類に基づいて分類できない成分である、もしくはその成分を含む。

IARC： 0.1%以上の水準で存在する当該製品の成分は、IARCによるヒト発がん性のおそれのある物質又はヒト発がん性が確認された物質とはされていない。

NTP： 0.1%以上の水準で存在する当該製品の成分は、NTPによる既知の発がん性物質又は発がん性が予想される物質とはされていない。

OSHA : 0.1%以上の水準で存在する当該製品の成分は、OSHAによる発がん性物質又は発がん性のおそれのある物質とはされていない。

生殖毒性

データ無し

データ無し

特定標的臓器毒性-単回暴露

吸入、経口 - 眠気又はめまいを引き起こすおそれあり。

特定標的臓器毒性-反復暴露

データ無し

吸引性呼吸器有害性

データ無し

追加情報

RTECS : 利用不可

12. 環境影響情報

12.1 有毒性

魚類に対する有毒性 LC50 - Pimephales promelas (ファットヘッドミノー) - 0.31mg/L - 96h

12.2 残留性・分解性

易生分解性 95% - 20日

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性は無いと考えられる (log Pow<=4)。

12.4 土壌中の移動性

データ無し

12.5 PBT及びvPvBアセスメントの結果

化学的安全性評価が不要である/実施されていない為、PBT/vPvBアセスメントは無い

12.6 その他の悪影響

データ無し

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

許可を受けた処理業者にリサイクル不可の残余溶液を委託する。許可を受けた専門の廃棄物処理サービスに連絡して当該化学物質を廃棄する。

汚染容器包装
未使用品として廃棄する。

14. 輸送上の注意

米国運輸省

UN番号：無し
正式輸送品目名 化学物質、液体、無害
毒物吸入の危険性：無し

IMDG

UN番号：無し
正式輸送品目名 化学物質、液体、無害

IATA

UN番号：無し
正式輸送品目名 化学物質、液体、無害

輸出入品目

第四級アンモニウム化合物。混合物。HS# 2923.90.0000

報告量 (RQ) :

15. 規制情報

SARA 302成分

当該化学物質には、SARAタイトルIIIセクション302の報告義務の対象となる化学物質は含まれていない。

SARA 313成分

当該化学物質には、SARAタイトルIIIセクション313の報告義務の対象となる化学物質は含まれていない。

カリフォルニア州法プロポジション65成分

当該製品には、カリフォルニア州でがん、先天性欠損、その他の生殖障害を引き起こすことが知られている化学物質は含まれていない。

16. その他の情報

セクション2及び3で述べたHコードの内容の全文。

H320 眼刺激を引き起こす。

HMIS等級

健康有害性：	1
燃焼性：	0
物理的危険性：	0

NFPA等級

健康有害性：	1
火災危険性：	0
反応危険性：	0

その他の情報

上記の情報は正確を期しており、当社が現在入手できる最善の情報です。ただし、上記情報に関し、明示又は黙示を問わず、当社が商品性の保証又はその他の保証をするものではなく、当社はその使用の結果生じた責任を負いません。使用者は独自に調査を行い、各自の特定の目的に対する情報の適合性を判断する必要があります。第三者の賠償請求、損失、又は損害、もしくは利益の損失又は特別、間接的、偶発的、派生的又は懲罰的な損害に対して、たとえDisChem, Inc.が上記の損害の可能性について通知しているとしても、どのように生じたものであれ、いかなる場合においてもDisChem, Inc.は責任を負いません。

